

一般

名誉区民について



すみだの絆
田中 哲

問 昭和史関連の著作で知られる作家の半藤一利氏が、令和3年1月12日に亡くなられた。半藤氏は、東京府東京市向島区生まれで、本区にとって大きな縁のある方である。この際、半藤一利氏に墨田区名誉区民の称号を贈る考えはないのか。半藤氏の功績は、墨田区名誉区民条例第2条（称号を贈る条件）の「公共の福祉を増進し、又は学術・芸芸等の進展に寄与した者であって、その功績が卓絶し、広く区民の尊敬を受けるとともに、墨田区の名を高めたもの」にまさに合致すると思われるが、区長の見解を伺う。

答 本区ゆかりの著名人としてご功績は顕著であると認識している。名誉区民制度は、条例で名誉区民選定委員会の答申を受けた上で区議会の同意を得ることになっており、この手続を進めるに当たりご本人の意向を尊重してきた。区ゆかりの偉人は、銅像の建立、郷土文化資料館での展示、書籍の発行等を通して顕彰してきた。ご提案の半藤氏に関しては、ひきふね図書館で追悼企画展を開催し、著書や経歴などを展示したところである。

問 小・中学校の卒業式・入学式を区予算でDVD映像として残し、生涯の思い出を作ってあげてほしい。

答 保護者の式典への出席について、昨年同様に制限を行う場合には、DVDの配布を検討する。

問 墨田区のハンコレスの進捗は、以前と比較してどのくらいの割合であり、今後どう変えていくのか。

答 内部手続は161件中、108件の押印を廃止、決裁文書の電子決定率は約30%から、約60%に向上した。押印の計画的廃止と行政手続等の利便性向上を推進する。

質問

区内鉄道交通の利便性向上について



立憲民主党墨田区議員
渋田 ちしゅう

問 ①小村井駅西口改札の新設について、今年4月に千葉大学が開校となり、iU情報経営イノベーション専門職大学と合わせ2大学となるが、東武鉄道と両大学側の考えは。また、改札新設の費用負担について、東武鉄道と協議を始めては。②地下鉄8号線（有楽町線）延伸について、区のを示し、地下鉄8・11号線促進連絡協議会において伝えるべき。③JR羽田空港線の延伸について、国土交通省はJR東日本の「羽田空港アクセス線」を許可した。このうち「東山手ルート」の一部の総武快速線への乗り入れができれば錦糸町駅から乗換えなしで空港へ行くことができるため、沿線自治体と協力し、要望してはどうか。

答 ①感染症の影響が長期化する中、大学はオンライン授業が中心で、一般の駅利用者も減っており、現時点で改札新設について協議する状況にはない。引き続き、状況を注視していくことが必要で、東武鉄道と両大学も同様の考えと認識している。このため、東武鉄道と設置費用の交渉を始める状況にはなく、今後の状況を踏まえ適切に協議を行う。②地下鉄延伸について、8号線の豊洲・住吉間が「国際競争力の強化に資する鉄道ネットワークのプロジェクト」に位置付けられるなど成果が出ている。協議会を進めており、私も都知事へ直接要望を行っている。押上以北への延伸についても、その実現に向け、引き続き取り組む。③既存の交通ネットワークへの影響等を見極める必要があることから、現時点で区が要望する考えはないが、アクセス性向上にはぎわい創出につながることから、動向を注視していく。

特別委員会の活動

議会改革特別委員会

【12月23日】

「議決事件の拡大」について

各会派等の意見開陳を行った後、改めて協議することとした。

「オンライン会議」について

令和2年度2月議会中に規定整備を行い、非公式会議で定期的にオンライン会議を実施しノウハウを蓄積していくこととした。

「区民等の参加及び意見反映の機会確保」及び「多様な意見聴取の方法」について

協議内容を踏まえ、次回、改めて協議することとした。

【1月22日】

「区民等の参加及び意見反映の機会確保」について

各会派等の意見開陳を行った後、改めて協議することとした。

「多様な意見聴取の方法」について

各会派の意見開陳を行った後、改めて協議することとした。

「議長及び副議長の所信表明」、「請願及び陳情提出者からの意見聴取」、「請願及び陳情の処理経過及び結果報告」、「研修の実施」及び「財政上の措置の要求」について

協議内容を踏まえ、次回、改めて協議することとした。

【2月9日】

「オンライン会議」について

墨田区議会委員会条例の改正及びオンラインによる委員会の具体的な運用方法等について協議し、条例改正に係る委員会提出議案を議長へ提出することとした。



「区民等の参加及び意見反映の機会確保」について

区議会に関するアンケートの実施や中学生区議会、議会における意見交換会等の開催について協議した。

「多様な意見聴取の方法」について

公聴会・参考人制度やパブリックコメント等について協議した。

「タブレット端末の配布（ペーパーレス化）」について

タブレット端末の導入・配布及びクラウドの導入等について協議した。

「議長及び副議長の所信表明」、「請願及び陳情提出者からの意見聴取」、「請願及び陳情の処理経過及び結果報告」、「研修の実施」及び「財政上の措置の要求」について

各会派の意見開陳を行った後、改めて協議することとした。

【3月16日】

「議長及び副議長の所信表明」について

所信表明の定義や実施方法、正副議長の立候補制の導入について協議した。

「請願及び陳情提出者からの意見聴取」について

意見聴取の運用方法や委員会等の公式な場における実施の可能性について協議した。

「請願及び陳情の処理経過及び結果報告」について

区から報告を求める採択請願・陳情や報告方法等について協議した。

「研修の実施」について

政策立案能力向上等のために行う議員研修会等のあり方について協議した。

「財政上の措置の要求」について

議事機関としての機能充実のための予算要求等について協議した。

「議決事件の拡大」について

議決事件に追加すべき事項について協議した。

墨田区議会基本条例の運用に係る検討課題の進捗状況について

令和2年度の進捗状況及び令和3年度の検討予定について協議した。

災害対策特別委員会

【1月25日】

「災害時の対応に関する規程の策定（議会BCPを含む）」について

本特別委員会の作業部会で検討した

墨田区議会BCP（業務継続計画）（案）について協議した。

町会・自治会振興特別委員会

【1月26日】

町会・自治会振興に関する課題及び今後の取組について

これまでに実施した町会・自治会との意見交換会において挙げられた課題を整理するため、委員間討議を行った後、課題に対する今後の取組について協議した。

ひきこもり対策特別委員会

【2月5日】

ひきこもりなど制度のはざまで孤立した方や家庭を把握するとともに、伴走支援ができる体制の実現に向けて

令和3年4月1日施行の改正社会福祉法に新たに規定された「重層的支援体制整備事業」に掲げられている3つの支援体制について調査・検討した。

令和2年度の活動報告

3月30日に、災害対策、町会・自治会振興、ひきこもり対策、議会改革の各特別委員会を開会し、令和2年度の活動実績を報告書としてまとめ、その成果物が、各委員長から議長に対して提出されました。

この活動報告を基に、4月開会の政策会議において、令和3年度の特別委員会のあり方を検討することとしています。

常任委員会の活動

企画総務委員会

開会日 1月25日(月)
3月25日(木)
3月30日(火)
案件 議案9件、陳情2件、
報告5件

◆主な審査状況を紹介します。

可決
令和2年度墨田区一般会計補
正予算(議案第73号)

職員の退職手当、各基金への積立、すみだ北斎美術館の資料取得費を追加計上するほか、新型コロナウイルス感染症対策事業費を追加し、各事業の進捗状況に伴う実績減、契約落差金等について減額補正を行うもの

各施設の管理運営費追加分について

問 新型コロナウイルス対策に係る各施設の管理運営費の経費追加分は全ての指定管理者等に調査した結果なのか。また、損失精算に関する協議はどのように行ったのか。

答 指定管理施設については、全て調査した上で、補正予算を提案している。また、緊急事態宣言による時間短縮要請等での損失分は入っていない。「新しい日常」に適した施設運営等へ全施設一律に見直すよう通達を出し、各施設の状況に応じて指定管理者と協議の上、計画変更を行った結果、生じた経費について計上している。

保留
全ての差別をなくし、人権が尊重され多様性が認められるまちづくりの実現のため、その基本的な考え方や取組を規定する条例の制定に関する陳情

(仮称)墨田区人権尊重のまちづくり条例の制定を視野に入れ、検討を開始すること、表現の自由等の人権に配慮した上で、公の施設等におけるヘイトスピーチを防止するための基準を策定することを求めるもの

人権は極めて重要な課題である

意見 本陳情については3回にわたって審査を行ってきたが、人権という極めて重要な課題について意見が分かれるのは望ましくない。来年度は人権に関する基本計画の改定があり、区としてしっかりと取り組むということであるため保留としたい。

報告
大学誘致の進捗状況等について

令和3年4月1日に開設する千葉大学墨田サテライトキャンパス、公民学連携まちづくりプラットフォーム「UDCすみだ」の発足等についての報告

区民の健康に資する地域貢献を期待する

意見 千葉大学とのスタートアップ共同事業について、医師等の派遣による区内の感染症情報の解析協力、医療業務補助のための医学・看護学の大学院生等の派遣については、大きな成果であると考えている。幅広い区民の健康に資する地域貢献をしていただけることを期待している。



千葉大学墨田サテライトキャンパス

区民福祉委員会

開会日 1月25日(月)
3月23日(火)
3月30日(火)
3月31日(水)
案件 議案7件、報告4件

◆主な審査状況を紹介します。

可決
すみだボランティアセンター
条例(一部改正)

すみだボランティアセンターについて、指定管理者による管理から、区による管理とすることに伴い、所要の改正をするもの

今後の展開について

問 今回の体制変更で、ボランティア団体の活動拠点となるが、今後の展開として、例えば、より幅広いボランティア団体の受入れや育成等が考えられると思うがどうか。

答 社会福祉協議会が事業実施に専念しやすくなり、ボランティアの育成が図られることが望ましい。区民サービスの向上につながるような取組を協働してやっていきたい。

可決
墨田区心身障害者福祉手当
条例(一部改正)

精神障害者の福祉の一層の向上を図るため、心身障害者福祉手当の支給対象に精神障害者保健福祉手帳1級の者を加えるほか、所要の改正をするもの

心身障害者福祉手当の額について

問 近隣区を確認すると葛飾区は同額だが、中央区は1万2000円、足立区は4000円になっている。自

治体によって手当額が違うが、その理由と算定根拠は。

答 心身障害者への手当を行っているのは14区で、福祉手当は区独自の事業であるため、区によって金額が異なっている。金額については区民の声、他区の状況等を総合的に勘案し決定した。

報告
新型コロナウイルススワクチ
ン接種実施計画について

新型コロナウイルススワクチン接種実施計画についての報告

ワクチン接種予約コールセンターについて

問 通常20回線、繁忙期は40回線を設置することだが、回線数の根拠は。特に、最初は高齢者が対象であるため電話予約が基本になると思うが、回線数は足りるのか。

答 本区と同規模の区市等の状況と当初の補助金額を勘案し20回線とし、その後、予算額倍増に伴い繁忙期の回線数を倍にした。実施してみないと分からない部分があるため、予算を流転用することでの回線数の見直しも視野に入れている。

2回目の接種予約について

問 2回接種が必要なワクチンを接種する場合、初回接種時に2回目の接種予約ができると予約忘れを防げると思うがどうか。

答 現在のシステムでは1回目の予約で自動的に次の予約はできない。現在、できる限り予約漏れがないような仕組みを検討中である。



墨田区新型コロナワクチン接種広報大使「わく丸」

地域産業都市委員会

開会日 3月12日(金)
3月22日(月)
3月30日(火)
案件 陳情1件、報告10件

◆主な審査状況を紹介します。

採択
建築物工事の騒音に関する
陳情

騒音の相談窓口や騒音規制法等の周知方法の追加や、法令等を業者が正しく解釈できるよう、ちらしの配布などの検討、健康への影響に対する予防方法の周知について検討を求めるもの

更なる周知を行うべき

意見 区内の建築工事の増加やテレワークによる在宅勤務の増加もあり騒音相談が増えていると思われることから、騒音に関する相談窓口等について、更なる周知を行うべき。

報告
両国駅周辺における自転車
駐車場の整備等について

両国地区における通勤・通学者の自転車駐車需要に対応するため、自転車駐車場を整備することについての報告

より両国駅に近い場所の可能性は

問 新設する2か所の自転車駐車場は駅から少し離れている。近隣の都有地や江戸東京博物館の敷地を借りて整備することはできないのか。

答 江戸東京博物館の敷地は交渉したが使用は難しく、都有地はそれなりの経費がかかるため、今回の場所を整備した。

子ども文教委員会

開会日 2月22日(月)
3月17日(水)
3月30日(火)
4月14日(水)
案件 陳情1件、報告5件

◆主な審査状況を紹介します。

不採択
コロナ禍における「墨田区
保育所等整備計画」見直し
に関する陳情

コロナ対策最優先での「墨田区保育所等整備計画」の見直し、職員の人員増、処遇改善等、さらに、4月開業予定の株式会社運営の公立保育園の実態を把握・検証し、解決困難の判断があれば、施行時期の延期を求めるもの

指定管理者制度について

問 墨田区は保育所等整備計画の下、財政の効率化優先で指定管理者制度の導入、民営化を進めてきたが、公的責任はしっかり担保できるのか。

答 財政の効率化だけに特化しているのではなく、保育サービスの充実や拡充に重きを置いて指定管理者制度を導入している。

報告
あわの自然学園のあり方の
検討状況について

外部事業者の施設・サービス活用についての検討結果と、あわの自然学園の今後の取扱いについて

しっかりと区民の声を聴き、反映させてほしい

意見 環境、教育等の観点から存続を望む声が少しでもあれば残すべきだが、教員、児童等の意見をしっかりと聴き、反映することを強く求める。